

◎昭和 45 年度第 1 回理事会議事録

(45.6.19) 出席者：大石会長，河上，米谷，長浜の各副会長，羽田専務理事，浅間，井上，石上，岩垣，内田，尾崎，岡田，吉川，後藤(幸)，後藤(明)，境，末沢，鈴木(秀)，田中，長谷川，星，牧野，南，毛利，山本の各理事。議事録署名理事の決定：大石会長，羽田専務理事，石上理事。A. 報告事項：つぎの各項につき羽田専務理事より報告があり了承された；1) 会計報告。2) 刊行物頒布報告。3) 各種委員会その他報告。記事：報告事項が了承されたあと会長の挨拶があったのち自己紹介を行ない議事に入る。B. 協議事項：1) 副会長の会長代理順位について；定款第 14 条 2 項により，会長からつぎの通り指名がありました。

① 長浜副会長 ② 米谷副会長

2) 会務担当理事の決定：規則第 24 条，第 25 条，その他につき羽田専務理事説明，扱い方をはかった結果，事務局案を提出し，一部の変更があったのち，下記のとおり決定した。

総務 平岡，吉川，二浦の各理事
企画 鈴木(秀)，毛利，後藤の各理事
経理 末沢，南，石上の各理事
編集出版 岡田，井上，山本の各理事
調査研究 鈴木(寛)，田中，岩垣の各理事

なお，資料により羽田専務理事からつぎのような説明があった。土木学会・組織図は理事会で承認されたが，企画委員会の位置づけについて同委員会が他の委員会と別格になるのはおかしいので当初の任務が完了後は他の委員会と並列とすべきであるとの理事会の結論であったと説明し，これを了承。3) 国際岩の力学会第 3 回国際会議(1974)開催について。4) 国鉄石油類パイプラインの研究委託について；資料により羽田専務理事から説明，異議なくこれを承認。5) 松永賞候補の推せんについて；羽田専務理事から本年度の応募は 3 件であるが，1 名の候補者を推せんすることになっているので，その選考を調査研究担当理事に検討してもらいたいと提案し，これを承認。6) 故鈴木公雄氏を記念するための寄付金について；羽田専務理事から，本年 5 月地下鉄工事の現場の事故で死亡した，故人の遺志により 50 万円の寄付があった。使用法は土木図書館に備えるための図書を購入し，記念としたいと説明し，承認となった。7) 土木学会創立 60 周年記念事業について；羽田専務理事から，4 年後の

1974 年が 60 周年にあたるので，記念のため何かをやりたいが，具体案を関係担当理事で検討して貰いたいと提案し，第一次的なものを相当理事がまとめることを了承。8) 原子力土木委員会構成について；羽田専務理事から以下の 4 つの部会ができることとなっている旨説明があった。

廃棄物処理 左合 正雄
耐震構造 岡本 舜三
立地関連技術 松井 達夫
原子力用コンクリート 国分 正胤

また，各委員は世話人の推せて決めた旨報告があり，承認となった。9) 会員の入退会について。10) 委員の委嘱について

① 論文集編集委員会(45 年度)

委員長 前田 幸雄 大阪大学
副委員長 田島 二郎 国 鉄
第 1 部門主査 田島 二郎 前 出
委員 伊藤 文人 国 鉄
岡村 宏一 大阪工業大学
飯田 隆一 建設省
中村 正平 首都公団
竹下 淳 北海道開発庁
後藤 茂夫 官地鉄工所
西野 文雄 東京大学
深沢 泰晴 山梨大学
芳村 仁 北海道大学
島田 静雄 名古屋大学
伊藤 学 東京大学
伯野 元彦 同
高尾 孝二 新日本技術
成田 信之 建設省
吉田 裕 東京大学
池田 尚治 首都公団
鈴木 康弘 桜田機械工業
岩垣 雄一 京都大学

第 2 部門主査 委員

佐藤 敦久 東北大学
川口 士郎 都立大学
日野 幹雄 東京工業大学
加藤 始 運輸省
秋元 保 電力中央研究所
上田年比古 九州大学
金子 光美 厚生省
須賀 亮三 建設省
宇井 純 東京大学
和田 明 電力中央研究所
荻原 国宏 東洋大学
大河原 満 建設省

第 3 部門主査 委員

伊勢田 哲也 建設省
浅川 美利 日本大学
近藤 正 日本道路公団
石原 研而 東京大学
小田 英一 徳島大学
茨木 龍夫 中央大学
沢口 正俊 運輸省
稲葉 誠一 建設省
上田 勝基 間 組
安田 正幸 電力中央研究所
土屋 敬 国 鉄

第 4 部門主査 委員

新谷 洋二 東京大学
佐藤 吉彦 国 鉄
越 正毅 東京大学
中村 英夫 東京工業大学
福吉 正敬 建設省
川北 米良 日本大学

工藤 和男 運輸省
倉島 収 経済企画庁
小川 裕章 建設省
斎田 登 同
高松 良晴 国 鉄
尾坂 芳夫 国 鉄
阿部 博俊 電力中央研究所
野尻 陽一 鹿島建設
山田 邦光 大成建設
小村 敏 首都公団
長坂哲夫 東京電力
長滝 重義 東京工業大学
岡村 甫 東京大学
小池 尉夫 東京都

第 5 部門主査 委員

◎新旧理事引継懇談会(45.6.19)

出席者：上記理事会出席者のほかに旧理事 柳沢会長，尾之内，国分の各副会長，安藤，大地，倉田，高橋，比留間の各理事。議事：退任の各理事から 2 年間在任中の感想や引継事項が述べられた。

◎各種委員会

(1) 論文集編集委員会第 3 部会(45.5.11)

出席者：中瀬部会長，ほか 6 名。議事：1) 前回第 3 部会報告。2) 査読報告。3) 新規受付原稿について。4) 部会長報告に関連して。5) 委員の交代について。

(2) プレストレストコンクリート設計施工指針改訂小委員会設計分科会(45.5.11)

出席者：猪股主査，ほか 10 名。議事：プレストレストコンクリート標準示方書設計編第 3 次原案の逐条審議を行った。

(3) 空港舗装研究委員会幹事会(45.5.11)

出席者：関係者 6 名。議事：空港舗装研究委員会報告書のとりまとめを行った。

(4) PC 工法小委員会フープコーン工法(45.5.12)

出席者：国分委員長，河野主査，ほか 23 名。議事：フープコーン工法設計施工指針案の第 1 原案の審議を完了した。

(5) 青函トンネル土圧研究委員会第 2 回委員会(45.5.12)

出席者：岡本委員長，ほか 23 名。議事：1) 排水孔を設けた場合のトンネル周辺の水圧分布について(嶋 委員)。2) トンネル湧水の性質について(関 委員)。3) 岩盤応力解析；① トンネル地圧の解析，② 背面圧数値計算。

(6) 会誌編集委員会書評小委員会(45.5.13)

出席者：塚山委員長，ほか 9 名。議事：1) 経過報告。2) 新旧交代，委員自己紹介。3) 委員会内規説明。4) 受付図書審査。5) その他。

(7) 鋼製セグメントの規格化に関する

る研究分科会幹事会(45.5.13)出席者:村上主査,山本副主査,ほか7名。議事:鋼製セグメントの規格化に関する研究のとりまとめ。

(8) プレストレストコンクリート杭設計施工指針小委員会支持力分科会(45.5.13)出席者:関係者11名。議事:PC杭指針支持力編につき打合せした。

(9) 会誌編集委員会(45.5.15)出席者:森委員長,ほか10名。議事:1)経過報告。2)会誌55巻10号編集の件。3)次回講座の件。4)その他。

(10) 岩盤力学委員会第1分科会グラウト班打合せ幹事会(45.5.15)出席者:関係者4名。議事:グラウティング施工指針(案)の原案とりまとめを行なった。

(11) 視聴覚教育委員会映画・スライド調査小委員会(45.5.15)出席者:関係者3名。議事:映画・スライドアンケート調査結果印刷について打合せを行なった。

(12) 原子力土木技術委員会打合せ(45.5.18)出席者:関係者5名。議事:原子力土木技術委員会改組に伴う委員会構成等につき打合せを行なった。

(13) 沈埋トンネル小委員会(45.5.19)出席者:大平委員長,ほか14名。議事:1)前回議事録の確認。2)II-2調査第2次案の審議。3)設計編,施工編の目次構成の審議。

(14) 第15回企画委員会(45.5.20)出席者:仁杉委員長,ほか10名。議事:1)前回議事録の確認。2)土木界のセクト間の融和について。3)学会行事のあり方について。

(15) 橋梁構造委員会橋梁年報編集小委員会(45.5.20)出席者:田島委員長,ほか3名。議事:「橋—1969~1970」の編集につき打合せを行なった。

(16) 文献調査委員会打合せ(45.5.21)出席者:新谷,小林の新旧委員長,ほか2名。議事:委員長交代につき今後の委員会の運営につき話し合いを行なった。

(17) 岩盤力学委員会“土木技術者のための岩盤力学”改訂準備委員会(45.5.22)出席者:藤井委員長,ほか7名。議事:1)経過説明。2)改訂(増補も含む)方法について。

(18) 論文集編集委員会第1部会(45.5.22)出席者:前田部会長,ほか7名。議事:1)前回第1部会報告。2)査読報告。3)新規受付原稿について。4)部会長報告に関連して。5)委員の交代。

(19) トンネル工学委員会運営小委員会(45.5.22)出席者:住友委員長,坂本

副委員長,ほか10名。議事:1)トンネル標準示方書,シールド工法指針作成にともなう謝礼について。2)トンネル工学委員会の今後の運営について。3)OECDトンネル国際会議出席者の通知について(運輸省より)。4)土木年鑑1971年版執筆について。5)ロックボルトE.タンセラン教授の講演について。

(20) ずい道の合理的設計に関する研究小委員会(45.5.22)出席者:住友委員長,坂本副委員長,ほか17名。議事:報告書審議。

(21) 出版企画委員会に関する打合せ(45.5.22)出席者:堺副委員長,山本幹事長,羽田専務理事。議事:1)44年度出版委員会の活動状況。2)45年度出版委員会の活動方針について。3)45年度出版委員会の主要議題について。4)45年度出版委員会の構成について。5)その他。

(22) プレストレストコンクリート杭設計施工指針小委員会施工分科会幹事会(45.5.23)出席者:関係者13名。議事:PC杭実地試験につき打合せした。

(23) 海外活動委員会幹事会(45.5.25)出席者:太田尾委員長,川村小委員長,ほか7名。議事:1)学会誌特集記事のまとめについて。2)45年度委員会・幹事会構成について。

(24) 第23回原子力土木技術委員会(45.5.25)出席者:左合委員長,ほか18名。議事:1)前回議事録の確認。2)企画委員会原子力土木技術に関する懇談会経過報告。3)今後の運営方針に関する意見,希望等について。

(25) 文献調査委員会打合せ(45.5.26)出席者:新谷,小林の新旧委員長,ほか5名。議事:委員長交代につき今後の委員会運営につき打合せを行なった。

(26) 岩盤力学委員会第3分科会(第1回)(45.5.26)出席者:石原主査,ほか8名。議事:1)経過説明。2)「現地岩盤の試験値と岩石試験値の関連」の調査経過およびその成果について。3)活動方針について。

(27) 岩盤力学委員会第2回運営委員会(45.5.26)出席者:石原主査,安江幹事長,ほか3名。議事:1)研究会開催計画の立案。2)各分科会の活動方針について。3)“土木技術者のための岩盤力学(出版物)”の改訂について。4)第3回岩の力学国内シンポジウム(1970)開催について。5)岩の力学研究連合委員会経過報告。

(28) 会誌編集委員会幹事打合せ(45.5.26)出席者:関係者7名。議事:1)経

過報告。2)自己紹介。3)会務説明および諸事務原案協議。3)次回講座協議。5)次回特集打合せ。6)その他。

(29) 欧文論文集編集小委員会(45.5.26)出席者:林委員長,ほか2名。議事:1)欧文論文集Vol.1, Part 2について。2)発送先について。3)その他。

(30) トンネル会議実行・論文合同委員会(45.5.27)出席者:伊吹山委員長,島田,西嶋,大平の各主査,ほか12名。議事:1)国内参加者の募集について。2)同時通訳設備の契約について。3)外国人講演者および参加者宿泊について。4)賛助金入金状況について。5)外国人講演者および講演題目の変更について。6)国内講演者原稿の翻訳について。7)パネルディスカッションについて。

(31) 論文集編集委員会部会長会(45.5.27)出席者:林委員長,前田副委員長,田島幹事長,尾坂部会長,ほか5名。議事:1)各部会原稿処理状況。2)前回部会長会議事録の確認。3)論文報告集作業手順について。4)新委員会への引き継ぎ事項。5)45年度委員会構成。6)内規について。7)欧文論文集について。

(32) 下水汚泥の処分方法に関する研究小委員会(第1回)(45.5.28)出席者:寺島委員長,ほか17名。議事:1)新委員の紹介。2)昭和44年度報告書について。3)昭和45年度調査スケジュールについて。4)下水汚泥の脱水に関する調査について。

(33) 衛生工学委員会(45.5.28)出席者:寺島委員長,ほか18名。議事:1)衛生工学関係委託研究について。2)第7回衛生工学研究討論会について。3)公害懇談会について。4)国際水質汚濁研究会議について。5)その他。

(34) 文献調査委員会(45.6.1)出席者:新谷,小林の新旧委員長,ほか19名。議事:1)会誌55巻8号登載抄録について。2)紹介記事について。3)解説記事について。4)担当雑誌について。

(35) 図書館運営小委員会(45.6.3)出席者:園田委員長,ほか2名。議事:フィッシュフィルム出版について。

(36) 海洋開発委員会幹事会(45.6.3)出席者:本間委員長,ほか5名。議事:1)海洋開発シンポジウムについて。2)海洋開発特集号について。3)海上空港について。

(37) トンネル工学委員会シールド工法小委員会主査幹事会(45.6.3)出席者:西嶋主査,ほか7名。議事:OECD国際トンネル会議Soft Ground分科会第2次案資料に対する国内意見の調査。

(38) 終局強度に関する打合せ (45.6.5) 出席者: 関係者7名。議事: 鋼およびコンクリートの終局強度に関し打合せを行なった。

(39) プレストレストコンクリート杭設計施工指針小委員会施工分科会 (45.6.8) 出席者: 鈴木主査, ほか18名。議事: 建設省補助金大口径 P C 杭施工方法の選定, 支持力の推定に関する実験計画の打合せを行なった。

(40) 会誌編集委員会・橋梁構造委員会幹事打合せ (45.6.10) 出席者: 橋梁構造委員会側 伊藤幹事長, ほか4名, 会誌委員会側 千秋委員長, ほか4名。議事: 会誌第55巻第10号に関して; 1) 経過報告。2) 特集内容協議。3) 仮目次作成。4) その他。

◎その他

(1) 第1回財政特別委員会 (45.1.21) 出席者: 柳沢会長, ほか関係者9名。議事: 1) 国分正胤委員を委員長に決定。2) 土木学会論文報告集購読料の値上げについて。3) 特別会員・普通会員会費の値上げの幅および時期について。4) 学会財政の基本問題について。

(2) 建設業に関する懇談会 (45.1.26) 出席者: 柳沢会長, ほか関係者23名。議事: 1) 土木学会企画委員会の経過ならびに現状について。2) 中立・理事一発注側一受注側, との意見交換と問題の提案について。3) 懇談会の今後の進め方について。

(3) 建設業に関する懇談会 第1回幹事会 (45.3.31) 出席者: 佐藤座長, 仁杉幹事長, ほか11名。議事: 1) 懇談会発足までの経過について。2) 幹事長の選出。3) 取り上げるテーマについて。4) 幹事会の推進方法。

(4) 土木学会運営に関する懇談会 (45.5.13) 出席者: 国分副会長, ほか16名。議事: 学会の組織の運営について。

(5) 建設業に関する懇談会第2回幹事会 (45.4.22) 出席者: 仁杉幹事長, ほか13名。議事: 1) 前回議事録の確認。2) 取り上げるテーマについて。3) 取り上げる順序について。4) 技術開発の問題について。5) その他。

(6) 電算機懇談会打合せ (45.5.1) 出席者: 関係者4名。議事: 懇談会の構成, 取り上げるべきテーマ, 懇談会の運営等について意見を交換。

(7) 岩の力学研究連合委員会第3回幹事会 (45.5.23) 出席者: 岡本委員長, ほか7名。議事: 1) 国際岩の力学会 (I.S.R.M) 第3回国際会議1974年日本開

催の件。2) 英文刊行物 "Rock Mechanics in Japan 1970" について。

(8) 本州四国連絡橋耐震合同研究会 (45.5.25) 出席者: 岡本委員長, ほか29名。議事: 1) 耐震工学委員会委員長挨拶。2) 経過説明。3) 研究議題; ① 調査の概要 (土木研究所, 鉄建公団, 道路公団), ② 吊橋下部構造の動的特性, ③ 今後重点的に研究を進めるべき事項。

(9) 建設業に関する懇談会第3回幹事会 (45.5.27) 出席者: 仁杉幹事長, ほか19名。議事: 1) 前回議事録の確認。2) 契約, 標準約款, 積算について。3) 第4回幹事会開催について。

(10) 昭和45年度岩の力学研究連合委員会第2回委員会 (45.5.28) 出席者: 岡本委員長, ほか11名。議事: 1) 議事録の確認および経過報告。2) 国際岩の力学会 (I.S.R.M) について; ① 連絡事項, ② 第3回国際会議1974年日本開催の件。3) 英文刊行物 "Rock Mechanics in Japan" について。

(11) 第3回日本地震工学シンポジウム (1970) 第3回運営委員会 (45.5.29) 出席者: 福岡委員長, ほか17名。議事: 1) 第2回論文選考・刊行部会の報告。2) 見学会の計画。3) 参加募集の公告について。4) 予算について。

(12) 構造物の耐風性に関する第1回シンポジウム第4回組織委員会 (45.6.3) 出席者: 関係者10名。議事: 1) 第1回シンポジウムについて; ① 経過報告, ② 会計報告, ③ 論文集および英文概要集について, ④ アンケート送付について。2) 次回開催について; ① 幹事学協会について。

(13) パリ国立鉱山大学 E.タンセラン教授講演会 (45.6.4) 土木学会・日本鉱業会共催
場所: 土木図書館講堂
参加者: 80名程度
議事: ① 演題 Roof-Bolting Recommendations, ② 講演終了後懇談会開催

(14) 本州四国連絡橋耐震合同研究会打合せ (45.6.8) 出席者: 関係者5名。議事: 地震動に関する研究の打合せを行なった。

支 部 だ よ り

◎東北支部

(1) 見学会 (45.6.20)
参加者: 日本大学学生 50名
見学先: 茨城県鹿島港外1ヵ所

(2) 第2回全国大会準備小委員会 (45.6.26, 支部事務局) 出席者: 関係者13名。議題: 1) 昭和46年度全国大会実施計画について。2) 全国大会実施日程について。3) 全国大会実施予算について。4) その他。

(3) 第1回全国大会準備委員会 (45.7.17, クローバー) 出席者: 関係者20名。議題: 第2回準備小委員会と同じ。

(4) 第3回昼食会 (支部長, 顧問, 商議員) (45.7.14, 支部事務局) 出席者関係者: 21名。

講演: 業界の2,3の問題について
間組仙台支店 平尾

議題: 第2回準備小委員会と同じ。

◎関西支部

(1) 第1回商議員会 (45.6.23, 大阪市開発公社) 出席者: 関係者45名。

(2) 第1回幹事会 (45.6.9, 大阪市開発公社) 出席者: 福山支部長, 岡田幹事長, ほか16名。

(3) 第2回幹事会および全国大会総合部会 (第4回) (45.6.23, 大阪市開発公社) 出席者: 福山支部長, 岡山幹事長, ほか22名。

(4) 全国大会総務部会 (第3回) (45.6.9, 大阪市開発公社) 出席者: 岡田部会長, ほか9名。

(5) 全国大会講演部会 (第3回) (45.6.20, 土木学会関西支部) 出席者: 榎木部会長, ほか13名。

(6) 全国大会実行委員会委員交替

財政委員兼見学委員

(旧) 中村竜二 運輸省港湾局計画課福佐官
に転出

(新) 川崎芳一 第三港湾建設局企画課長

(7) 全国大会実行委員会委員追加委嘱

総務委員 小林 幸蔵 大阪市総合計画局計
画部主幹

同 波多野昭吾 大阪設計コンサル
タツ(株)専務取締役

講演委員 松梨順三郎 神戸大学教授工学部
土木工学教室

同 村岡 浩爾 大阪大学助教授工学
部土木工学教室

(8) 第47回騒音振動委員会 (45.4.21, 好文倶楽部) 出席者: 庄司委員長, ほか11名。

(9) 騒音振動委員会幹事会 (第43回) (45.4.21, 好文倶楽部) 出席者: 庄司委員長, ほか5名。

(10) 第48回騒音振動委員会 (45.5.26, 好文倶楽部) 出席者: 庄司委員長, ほか10名。

(11) 騒音振動委員会幹事会 (第44回) (45.5.26, 好文倶楽部) 出席者: 庄司委員長, ほか3名。

— 委員長就任にあたって —

この6月、編集委員の約半数が交替すると同時に、任期を満了された森委員長も退任され、その後任として2ヵ年間に誌編集の責を負うことになった。

ひきつづき残り任期を務めるベテラン委員に加えて、各職域・各支部から澁滞とした新任委員が選出され、編集委員会は不動磐石の態勢とみえたが、この機会に委員会業務遂行の円滑化を一段と高めるために、熟達老練幹事の留任をあおぎ、また各分野にわたる若手幹事の追加新任を行なって幹事団を増強し、編集の企画、編集会議の運営を幹事団中心で進める体制とした。3万会員の約40%は将来の土木界をになう若年会員と学生会員で占められており、また30%は現場にあって、さまざまな具体的問題に直面している建設業関係の会員である。したがって、これらの会員のために特に留意した編集企画を行なうことも大切であって、委員・幹事の中にこの会員層の代表を多く加え、また今回初めて学生会員の委員を選任して、この意図を達成できる布陣とした。

こうして目下、長期的な視野に立った編集企画を策定中であるが、会誌のイメージをいまここで大幅に変更しなければならない特別な理由はないものと考えている。歴代委員会の努力の積み重ねで、現在の土木学会誌は多くの

学協会誌の中でも内容的に充実した出色のできばえを誇ってよいものと私個人は考えているからである。今後の会誌のあるべき姿は、これからの新委員会の討議に基づいて方向づけられるべきであろうが、会誌があくまでも3万の会員の期待に応え、会員と密着した存在であるべきことから、編集の心がまえとして、高水準な内容を保つと同時に、親しみやすい魅力的な紙面とすることの基本線が、新委員会でつとに確認されている。そのために会員が文化的な広い視野に立つような思考を生み出せる企画、土木界とそれを取り巻く他分野との相互理解を深めることに役立つ企画をおし進めるとともに、会員の共通の話題を掘り下げ、会員の生活の息吹きを伝え、会員の声を紙面に反映させる企画を、積極的にとり上げてゆきたいと考えている。

近く会員の無作為抽出によって、会誌に対するアンケートを実施するが、この調査の結果に限らず、ひろく会員の意見をとり入れるべく窓口は大きく開放してあるはずであるから、今後会誌万般に関して隔意ない発言を期待したい。

はげしい変革の時代にあたって、先を見通した企画を携え、常に会員とともに在る会誌づくりに努めることを、新編集委員会発足にあたっての、ささやかな公約としたい。
(千秋 信一・記)

昭和45年度土木学会誌編集委員

委員長	千秋 信一								
委員	浅沼 堯	阿部 博俊	上野 芳久	加藤 正晴	神谷 牧夫	川原 睦人	神田 創造		
	菊川 哲士	小林 一輔	斎藤 健次郎	齋田 登	陣内 孝雄	杉山 俊宏	杉山 好信		
	鈴木 庄二	中村 一彦	布目 恵造	伯野 元彦	橋本 宏	峯本 守	宮内 章		
	山口 良雄	山田 俊英	山本 勝三	山本 弥四郎	渡辺 信夫				
北海道支部委員	五十嵐 日出夫	高橋 毅		関西支部委員	井上 頼輝	久保 弘一			
東北支部委員	倉西 茂	福田 正		中国四国支部委員	田原 英二	門田 博知			
関東支部委員	新井 雅美	岡部 忠夫		西部支部委員	中野 健次	彦坂 照			
中部支部委員	植下 協	松浦 聖							
委員兼幹事長	服部 昌太郎								
委員兼幹事	今本 博健	片山 恒雄	加藤 三郎	四野宮 紀郎	松浦 仡	横山 義雄			

Coastal Engineering in Japan, 1969 頒価

標記の図書が刊行されました。本書には最近の海岸工学の研究状況が図表を豊富に用いてわかりやすい英文で記述されておりますのでご一読のうえ、広く海外へご紹介下さい。

体 裁：B5判 本文 190 ページ、口絵写真 2 ページ
 定 価：1500 円
 送 料：100 円